

基準7 準学士課程の学習・教育の成果

| | |
|--|---|
| <p>評価の視点</p> <p>7-1 卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）に照らして、学習・教育の成果が認められること。</p> | |
| <p>観点7-1-① 成績評価・卒業認定の結果から判断して、卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）に沿った学習・教育の成果が認められるか。</p> | |
| <p>【留意点】</p> <p>○ 学生の成績（卒業時のGPA値等。）や原級留置の状況、単位修得率（登録授業単位数に対する修得単位数の率。）等、成果を総合的に分析すること。</p> | |
| <p>観点の自己点検・評価結果欄（該当する□欄をチェック■）</p> <p>以下の自己点検・評価結果を踏まえ、当該観点の内容を満たしているか。</p> <p>■満たしていると判断する</p> <p>□満たしていると判断しない</p> | |
| <p>自己点検・評価結果欄（該当する□欄をチェック■）</p> | <p>自己点検・評価の根拠資料・説明等欄</p> |
| <p>(1) 学生が卒業時に身に付ける学力、資質・能力について、成績評価・卒業認定の結果から学習・教育の成果を把握・評価するための体制を整備しているか。</p> <p>■整備している</p> <p>□整備していない</p> | <p>◇体制の整備状況がわかる資料</p> <p>7-1-①-1(p722)_学習・教育の成果の把握分析体制に関する資料</p> <p>7-1-①-2(p723)_学習・教育の成果の評価体制に関する資料</p> |
| <p>(2) 学生が卒業時に身に付ける学力、資質・能力について、成績評価・卒業認定の結果から学習・教育の成果を把握・評価しているか。</p> <p>■把握・評価している</p> <p>□把握・評価していない</p> | <p>7-1-①-3(p724)_DPの見直し・改善体制に関する資料</p> <p>◇成績評価・卒業認定等に関するデータ・資料</p> <p>7-1-①-4(p725)_成績評価・卒業認定の規則</p> <p>7-1-①-5(p727)_学年の課程修了認定に必要な通算修得単位数</p> |
| <p>(3) (2)の結果から学習・教育の成果が認められるか。</p> <p>■認められる</p> <p>□認められない</p> | <p>7-1-①-6(p728)_審議対象科目</p> <p>7-1-①-7(p729)_必得科目群</p> <p>7-1-①-8(p730)_DP5に関連した科目：地域志向科目一覧</p> <p>※DP1・DP6 は一般科目進級卒業単位数（7-1-①-4～5(p724～p727)）</p> <p>DP4 は自主探究の修得（7-1-①-4(p725)）</p> <p>DP2・DP3 は審議対象科目、必得科目（7-1-①-6～7(p728～p729)）</p> <p>DP5 は多数の地域志向科目（7-1-①-8(p730)）と設定することで卒業要件によりDPを満たす</p> <p>◇把握・評価の実施状況がわかる資料</p> <p>7-1-①-9(p731)_学習・教育の成果の把握・評価に関する資料</p> <p>※H29年度の単位修得・原級留置の状況</p> |

| | |
|--|---|
| | <p>◆左記(2)及び上記の資料を踏まえて、学習・教育の成果が認められることについて、資料を基に記述する。</p> <p>卒業要件(7-1-①4~8(p725~P730))より卒業時学生はディプロマ・ポリシーを満足するカリキュラムにより必要な科目を修得していることから、教務委員会(7-1-①-1(p722))にて単位修得・原級留置の状況(7-1-①-9(p731))より学習・教育の成果を把握し、評価している。ディプロマ・ポリシーは運営委員会、教育プログラム委員会で毎年見直し、把握・評価している。(7-1-①-2~3(p723~p725))</p> <p>単位修得・原級留置の状況(7-1-①-9(p731))から、クラスの平均点、学年の平均点は70点から80点強であり、学習・教育の成果が認められる。また、成績不振による原級留置者数は30名前後、全学生の約3~4%であることから、一定の学習・教育の成果が認められる。</p> |
| <p>観点7-1-② 達成状況に関する学生・卒業生・進路先関係者等からの意見の聴取の結果から判断して、卒業の認定に関する方針(ディプロマ・ポリシー)に沿った学習・教育の成果が認められるか。</p> | |
| <p>【留意点】</p> <p>○(1)の体制の整備が、観点7-1-①と同じ体制で実施されている場合には、観点7-1-①と同じ資料となる。</p> <p>○(2)(3)(4)は、観点1-1-③で分析している種々の評価結果の一部と同一のものであるため、内容の整合性に留意して分析すること。</p> | |
| <p>観定の自己点検・評価結果欄(該当する口欄をチェック■)</p> <p>以下の自己点検・評価結果を踏まえ、当該観定の内容を満たしているか。</p> <p>■満たしていると判断する</p> <p>□満たしていると判断しない</p> | |
| <p>自己点検・評価結果欄(該当する口欄をチェック■)</p> | <p>自己点検・評価の根拠資料・説明等欄</p> |
| <p>(1) 学生が卒業時に身に付ける学力、資質・能力について、学生・卒業生・進路先関係者等からの意見聴取の結果に基づいて学習・教育の成果を把握・評価するための体制を整備しているか。</p> <p>■整備している</p> <p>□整備していない</p> | <p>◇体制の整備状況がわかる資料</p> <p>7-1-②-1(p732)_卒業生及び企業等からの意見聴取実施体制に関する資料</p> <p>7-1-②-2(p733)_卒業生及び企業等からの意見聴取結果の把握評価体制に関する資料</p> |
| <p>(2) 学生が卒業時に身に付けた学力、資質・能力について、卒業時の学生に対する意見聴取の結果から学習・教育の成果の把握・評価を行っているか。</p> <p>■行っている</p> <p>□行っていない</p> | <p>◇意見聴取の結果に関するデータ・資料</p> <p>7-1-②-3(p734)_卒業時の学生意見聴取に関する資料(一例)</p> <p>(※入学時、3年修了時(4年進学時)、卒業時に学習・教育目標の達成度自己評価を記入し、達成していることを学生自身とクラス担任で確認している。)</p> |
| <p>(3) 学生が卒業時に身に付けた学力、資質・能力について、卒業生(卒業後5年程度経った者)に対する意見聴取の</p> | <p>7-1-②-4(p736)_卒業後の卒業生意見聴取の実施に関する</p> |

| | |
|---|---|
| <p>結果から学習・教育の成果の把握・評価を行っているか。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 行っている</p> <p><input type="checkbox"/> 行っていない</p> | <p>資料 7-1-②-5(p737)_進路先の意見聴取の実施に関する資料</p> <p>7-1-②-6(p738)_卒業後の卒業生意見聴取の結果に関する資料</p> |
| <p>(4) 学生が卒業時に身に付けた学力、資質・能力について、進路先関係者等に対する意見聴取の結果から学習・教育の成果の把握・評価を行っているか。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 行っている</p> <p><input type="checkbox"/> 行っていない</p> | <p>7-1-②-7(p748)_進路先の意見聴取の結果に関する資料</p> <p>7-1-②-8(p755)_進路先（進学）の意見聴取の実施と結果（抜粋）</p> |
| <p>(5) (2)～(4)の評価結果から学習・教育の成果が認められるか。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 認められる</p> <p><input type="checkbox"/> 認められない</p> | <p>◇把握・評価の実施状況がわかる資料</p> <p>7-1-②-9(p757)</p> <p>_卒業生及び企業等からの意見聴取結果の把握評価に関する資料</p> <p>◆左記(2)～(4)及び上記の資料を踏まえて、学習・教育の成果が認められることについて、資料を基に記述する。</p> <p>教育プログラム計画委員会において、学生・卒業生・修了生及び就職先のアンケート（7-1-②-4～5(p736～P737))、達成度記録簿（7-1-②-3(p734)）の作成と実施を行っている。自己評価書により把握・評価し、評議員会による外部評価を行っている。（7-1-②-9(P751)）</p> <p>卒業時の学生は、達成度記録簿（7-1-②-3(p734)）により自己評価を行い、その内容をクラス担任が確認報告し、卒業時学生全員が、学習・教育の成果として達成できていることを確認しており、学習・教育の成果が認められる。</p> <p>卒業生からの意見聴取結果（7-1-②-6(p738)）から、7割以上の学生が本校で学習した内容が現在も役立っていると回答し、学習・教育の成果が認められる。</p> <p>進路先関係者からの意見聴取結果（7-1-②-7～8(p748～p755)）より、DPに関連した学習・教育の項目に関して、9割以上の卒業生が同世代の方と比較して同程度から十分高いと回答し、学習・教育の成果が認められる。</p> |
| <p>観点7-1-③ 就職や進学といった卒業後の進路の状況等の実績から判断して、学習・教育の成果が認められるか。</p> | |
| <p>【留意点】なし。</p> | |
| <p>関係法令</p> | <p>(法)第122条 (施)第178条</p> |
| <p>観点の自己点検・評価結果欄（該当する口欄をチェック■）</p> <p>以下の自己点検・評価結果を踏まえ、当該観点の内容を満たしているか。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 満たしていると判断する</p> <p><input type="checkbox"/> 満たしていると判断しない</p> | |
| <p>自己点検・評価結果欄（該当する口欄をチェック■）</p> | <p>自己点検・評価の根拠資料・説明等欄</p> |

| | |
|--|--|
| <p>(1) 学校として把握している最近5年間の就職率及び進学率から判断して、学習・教育の成果が認められるか。</p> <p>■認められる □認められない</p> | <p>◇【別添】卒業生進路実績表</p> <p>7-1-③-1(p758)_H29年度卒業生の就職先に関する資料 7-1-③-2(p759)_H25年度からH29年度卒業生の進学先に関する資料</p> |
| <p>(2) 学校として把握している就職先や進学先は、各学科の養成しようとする人材像に適したものとなっているか。</p> <p>■なっている □なっていない</p> | <p>◆就職率・進学率や就職先等から、養成しようとする人材像にかなった成果が得られているかどうかについて、資料を基に記述する。</p> <p>進学率・就職率は5年間100%を堅持しており、学習・教育の成果が表れている。主な進学先には理工系大学、主な就職先には製造業に就職している。これらの就職先や進学先から本校の養成しようとする人材像にかなった成果が得られていると判断できる。</p> |

7-1 特記事項 この評価の視点の内容に関して、「観点」のみでは自己評価できない活動や取組における個性や特色、資料を参照する際に留意すべきこと等があれば、記入すること。

自ら課題を発見し、課題解決に取り組む自主探究を実施し、主体的に考えて行動する力を育成するカリキュラムを導入している。学会やコンテスト等で研究成果を発表し、学外でも評価されている。また、様々な国への学生派遣プログラムの展開や外国人学生の受け入れを行っており、国際交流の理解、多文化・異文化コミュニケーション力の向上を行っている。

基準7

| |
|---|
| <p>優れた点</p> |
| <p>進学率・就職率は5年100%を堅持していることから、教育機関、産業界からのニーズに応えた人材育成を行っている判断できる。</p> |
| <p>改善を要する点</p> |
| <p>該当なし</p> |